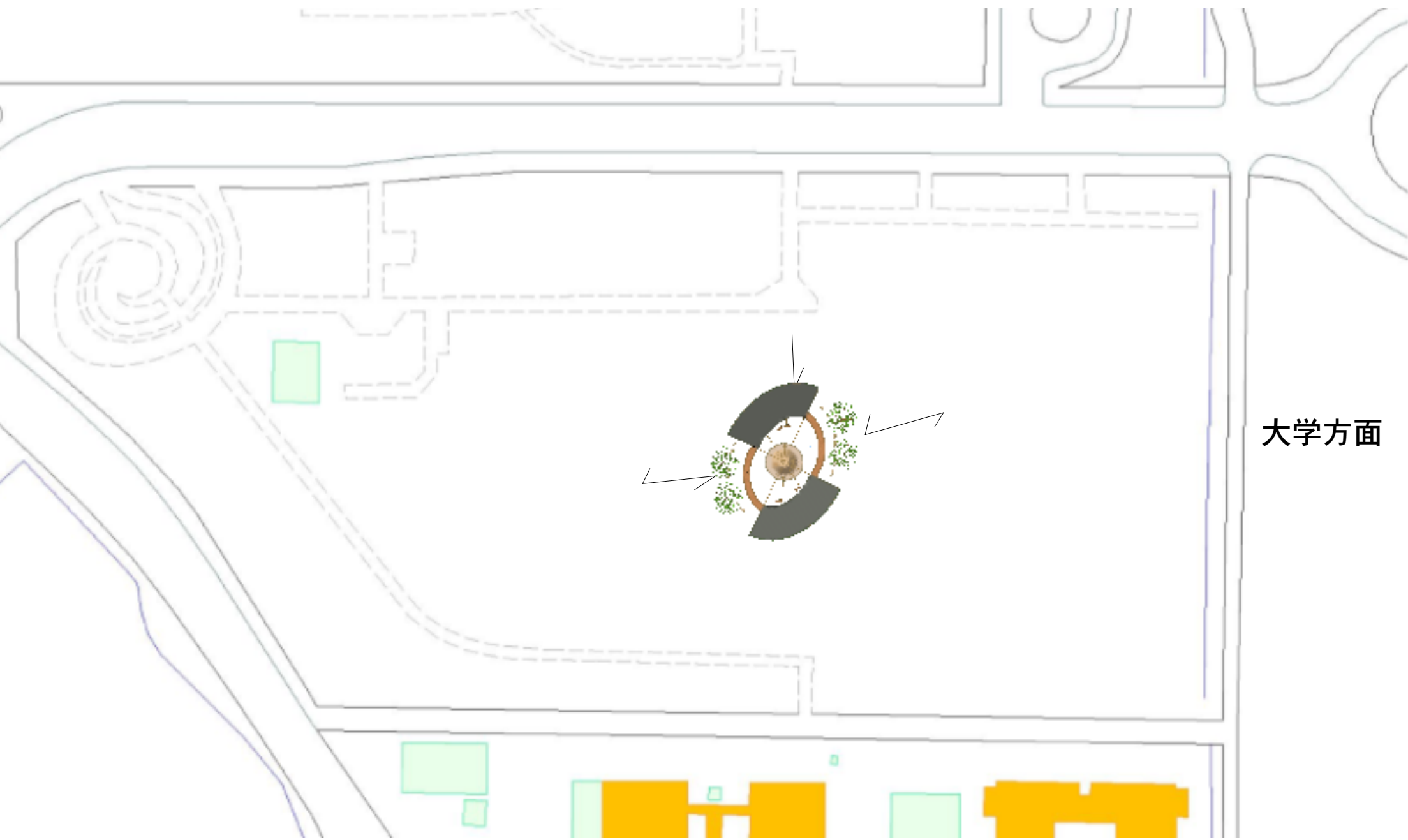


憩いとたわむれ ~大学前公園アソビバ計画~

大学前にある飛鳥公園。その多目的広場はゲートボールで利用する年配の方々がいるが、ベンチや屋内の施設がないため、車や芝生で休んでいた。そこで、多目的広場を使う人が集まる・休む場所を提供したいと思った。また、利用者の拡大を図るため、子供が集まって遊べる場所としても利用できる建物を目指した。木材の加工のしやすさや木のもたらす安心感に目を付け、様々な工夫を凝らした。



外観
縮尺: 1:500

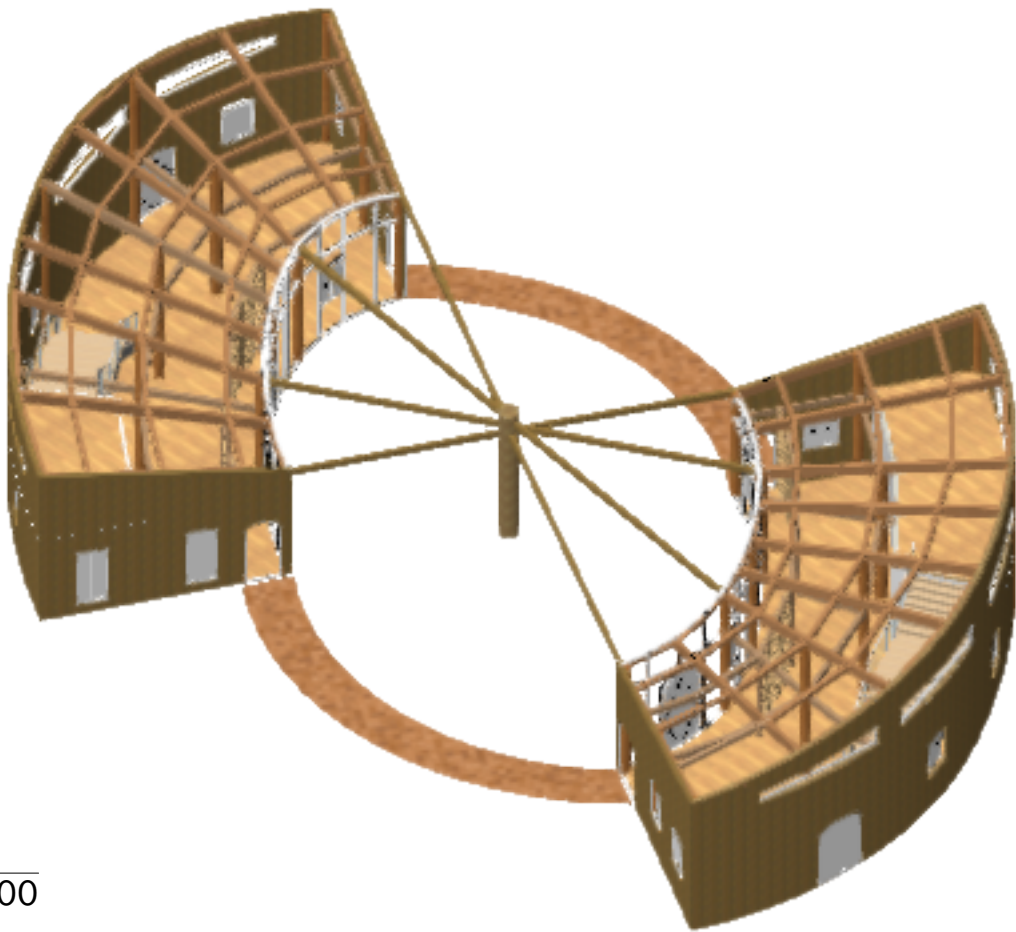


配置図
縮尺: 1:1000

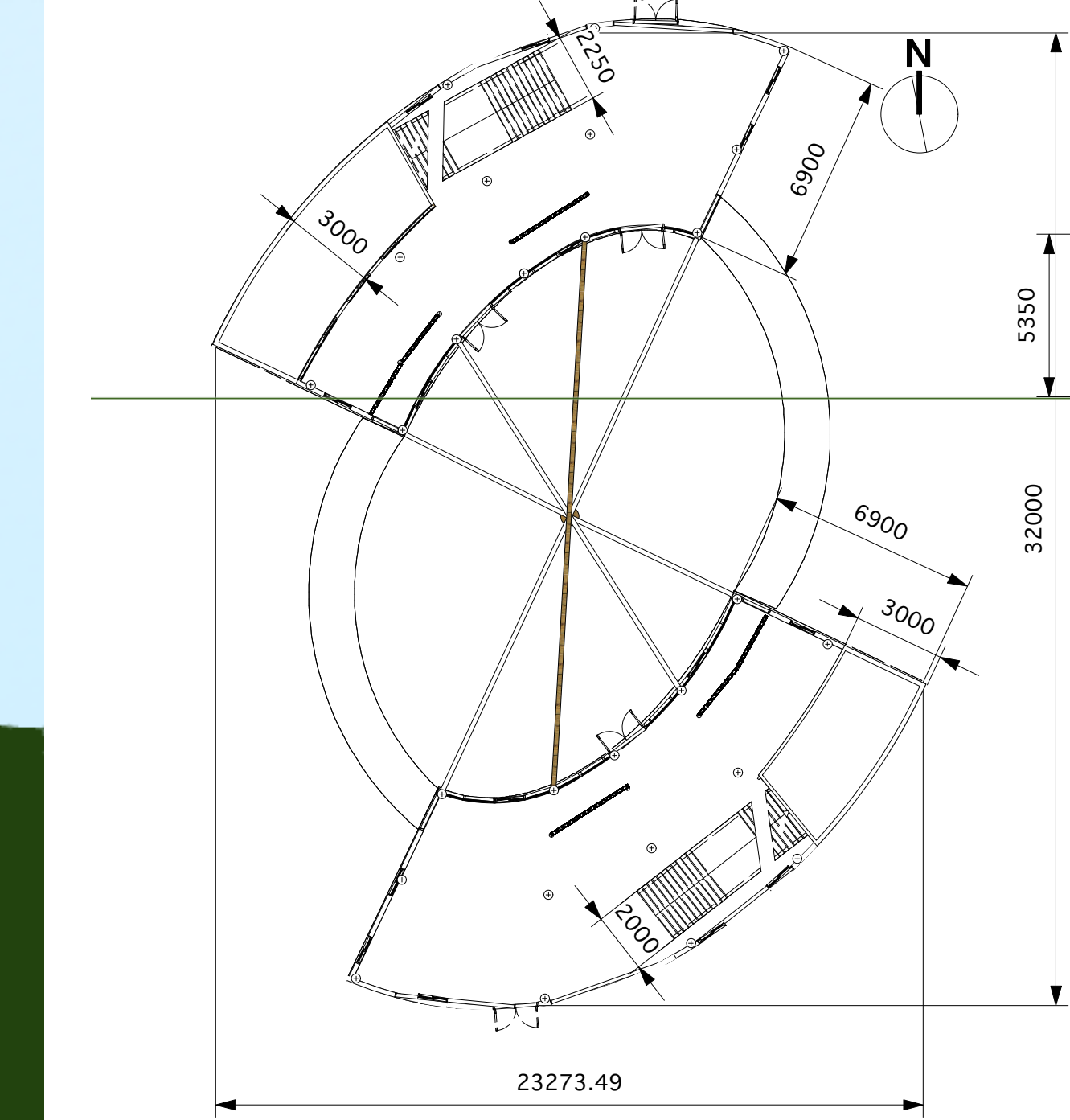
大学方面

多目的広場を東西にダイレクトに移動できるよう、配置図のような楕円形の構造にした。中心の円錐のようなオブジェクトは遊具となっている。また、楕円形の敷地に沿ってぐるぐる走り回れるコースを整備しており、子供が走り回り大人もそこを歩くことが出来るよう設計している。

構造は木造である。屋根にかかる梁が青森県むつ市にある吉野保育園の構造を参考にした。



梁
縮尺: 1:200

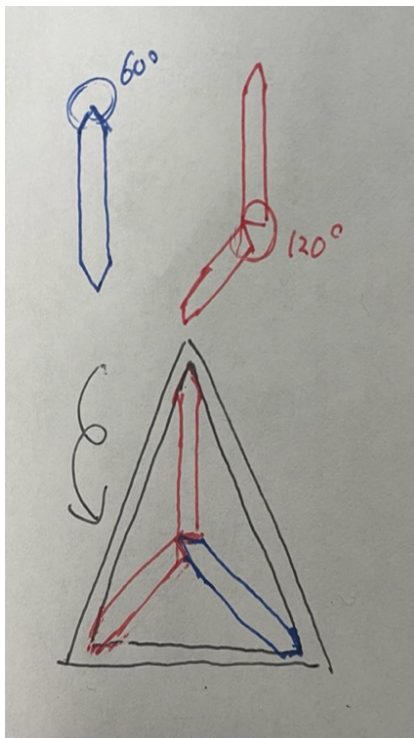
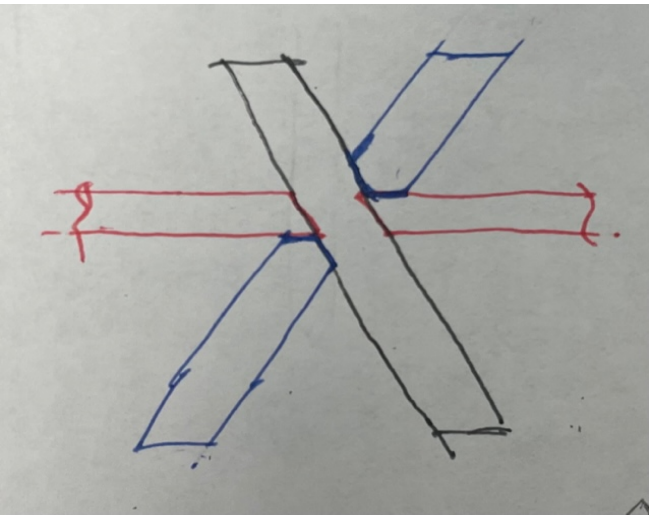


平面図
縮尺: 1:200

フェンスや間仕切り壁は本荘の組小細工をイメージし、同じ接合方法で作った物である。階段の下にはキッズスペースを配置。



内観
縮尺: 1:1000



組子の接合イメージ



東側立面図
縮尺: 1:200



北側立面図
縮尺: 1:200



遊具
縮尺: 1:1000

中心部の遊具はボルダリングのような突起物を付けており、つかんで登ることが出来るようになっている。この突起物や遊具の足場などは木材加工所で出た端材などを使用し、木材のロスを減らす目的もある。